

2022年度 藤本化学製品(株) 生物多様性の重点項目

2023年4月28日

熱帯雨林の環境破壊防止を目的

E S G 推進室

- ・ 消耗剤として使用する紙製品について、「環境対応商品」の製品を積極的に購入する。

2022年4月－2023年3月(通期集計)

単位(千円)

	消耗品					その他	
	環境対応商品 金額合計	購入品目 例	環境対応 購入金額割合%	2021年 通期実績	4-3月 消耗品費合計	環境対応商品 金額	購入品目 例
営業本部	188	コピー用紙、ラベルシール、保管ファイル類、 洗剤、テープ類、ティッシュ、ファイル類	61.7%	32.9%	304	0	
管理本部	216	コピー用紙、名刺、封筒、電池、CD-R ティッシュ、ペーパータオル、トイレットペーパー等	36.3%	18.2%	595	509	紙コップ、紙マドラー(会議費) 会社パンフ (営業本部)
泉北工場	2,493	コピー用紙、キングファイル、OK付規格袋 テープ類、カーインデックス、ペーパータオル等	5.6%	4.5%	44,737	197	OAデスク サイドキャビネット 液晶テレビ、傘立て、PETお茶
金楽工場	1,094	コピー用紙、ピッチャー、トイレットペーパー、キングファイル 付箋、電池、ラベルシール、バイオマスゴミ袋、ペーパータオル 他	13.8%	15.1%	7,958	0	コーヒーフレッシュ(会議費)
研究開発本部	43	キングファイル、布テープ、インデックス	0.9%	0.9%	4,781	167	緩衝材、電池、トナー等 クリップボード
全社	¥4,033				¥58,387	¥874	
			6.9%	5.8%		8.3%	6.5% (2021年通期実績)

考察

各部にて環境対応商品に対する意識づけが出来ており、昨年同様に環境保護に対する活動の成果が得られています。

全社における消耗品中の購入割合は6.9%(昨年5.8%)であり、その他環境対応商品の購入を含めて、8.3%(昨年6.5%)です。

消耗品以外の環境対応商品について約87万円を購入しており、購入促進に向けた意識づけができています。

次期へ向けて

引き続き、事務用品等の備品類(紙製品)については、環境対応商品を積極購入して、結果を集計する予定です。

紙製品のみでなく、環境効率に優れた製品や環境保全に貢献する製品全般について購入対象を広げていきます。

以上